

BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー

出利葉 浩司 (北海道開拓記念館 学芸副館長)

バイオミメティクスだけじゃない!! 博物館の活用法 - 開かれた博物館をめざして -

2014年1月5日 (日)

会場：北海道大学総合博物館 / 知の交流コーナー
時間：午後1時30分から午後3時30分



バイオミメティクスという研究は、さまざまな生物を電子顕微鏡で細かく観察するところが出発点。そこからあらためて生物の特徴を考えてみよう。そして、同じような構造を持つ物質を現代科学の力で作ってみようということになるのでしょうか。それでは、なぜ、この市民セミナーは「博物館」でおこなわれるのでしょうか？それは、博物館が持つ莫大な標本を活用しようというのが、この研究の「隠し味」だからです。博物館というとまず思い浮かぶのは展示室ですが、

そこで展示されている資料は、博物館が所蔵する資料全体からすれば、ほんの一部でしょう。それでは、博物館の所蔵資料を利用するのはごく一部の研究者に限られるのでしょうか？今回のプログラムでは、これまでのお話からちょっと横道にそれて、博物館の楽しみ方について考えてみます。博物館という展示を見るだけと思っていられる方は多いのではないのでしょうか？展示といっても、さまざまな「かたち」があります。ひと味違った展示の楽しみ方、博物館の利用の仕方、収蔵資料へのアクセスなどについて、お話しします。



オックスフォード大学 ビット・リヴァース博物館の展示



これも展示です (アメリカ合衆国国立自然史博物館にて)



国立アメリカ歴史博物館でのハンズオン

主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」
協賛：高分子学会北海道支部

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp